

旭川市報道依頼

各報道機関 様

発表日	平成30年4月20日
発信課 担当者	農業センター技術普及係 松尾
連絡先	電 話 61-0211
	F A X 63-2454
	E-mail nogyocenter@city.asahikawa.hokkaido.jp

分 類	イベント・行事 募集 契約・入札 会議・説明会 <u>その他</u> (該当する分類を囲むこと。)
日 程	月 日 ~ 月 日
発表項目 (行事名)	平成30年度旭川市農業センター試験課題について
概 要 (趣旨・日時・ 場所・内容等を 記入すること。)	旭川市農業センターでは、農家や農業関係者からの要望等を踏まえ、平成30年度に実施する試験研究の課題を決定しました。 すでに、栽培がはじまっている作物もありますが、取材及び報道についてよろしく願いいたします。
添付資料	<u>有</u> ・ 無 平成30年度旭川市農業センター試験課題等一覧 (H30.4.1現在) (有・無のいずれかを囲むこと。) ※ 有の場合、資料の内容を記入すること。なお、別途冊子等の配付を希望する場合は、その旨記入すること。
報道(取材)に当たってのお願い	
備 考	

平成30年度 旭川市農業センター試験課題等一覧(H30.4.1現在)

No.	課題名	年次	作型			試験の概要	関係先等
			播種	定植	調査・収穫		
1	トルコギキョウ新品種適応性試験	新規	3/22	5月上旬	7月下旬～9月下旬	トルコギキョウは市内切花生産の基幹品目であり、また毎年数多くの新品種が発表される。花きは品種の変遷が早いため、いち早く現地での品種特性を把握することが重要なことから、各社の新品種の特性を調査し、市内での栽培に適した新品種導入のための資料を得る。(供試品種予定数:30品種程度)	旭川青果物生産出荷協議会花卉部会
2	トルコギキョウ早期出荷可能性検討試験	新規	①(H29) 11/15 ②(H29) 12/1	①2/9 ②2/15 ③3/27	6月中旬～7月中旬	近年のトルコギキョウは地場産の需要が増加し、中でも初夏の5月から6月は地場産の単価が高く推移している。だが、この作型は道内での検討事例が少ない上に加温を要することから、加温を抑えて6月に出荷するにあたり、栽培に応じて生じる問題を洗い出す。(供試品種:クリスハートほか全6品種)	旭川青果物生産出荷協議会花卉部会
3	ブプレウラムの栽培法試験	新規	①5月下旬 ②6月中旬	①6月下旬 ②7月中旬	①8月中旬 ②9月上旬	ブプレウラムは添え花またはグリーン素材として長期の需要があるが、8月の高温期における栽植密度と品質の関係が明らかになっていないことから、栽植密度及び栽培管理が品質に及ぼす影響を検討する。(供試品種:グリーンゴールド)	旭川青果物生産出荷協議会花卉部会
4	スターチス・シヌアータの栽培管理法比較試験	H29～	/	5月中旬	7月下旬～10月下旬	平成28年度試験では、盆需要後に抽台刈り込みを行うことにより二番花の品質向上が見られたが、彼岸需要期には採花が間に合わなかった。今年度は生産者部会の重点品種について、彼岸需要期に間に合う抽台刈り込み時期を検討し、その有効性を検証する。(供試品種予定数:紫龍ほか全4品種)	旭川青果物生産出荷協議会花卉部会
5	果菜類栽培における細霧灌水資材の効果確認試験	新規	ピーマン 3/12 ミニトマト 3/22	5月上旬	6月～	住化農業資材の開発した「ミストエース20ハウスクール」は、従来、ポンプ等を必要とし設置に多額の費用が必要な細霧冷房システムを、基本チューブのみで実現した安価な細霧冷房資材である。本資材の導入効果について検討を行う。(対象作物(品種):ミニトマト(SC6-008)、ピーマン(ピグシー))	旭川青果物生産出荷協議会ミニトマト部会・ピーマン部会
6	春どりレタス品種比較試験	H27～	1/10	3/9	4月下旬	(1)昨年度までの試験で地域基幹品種「サリナス397」に準じる生育が見込まれる品種について、地域慣行施肥量より減らした栽培での生育特性を検証する。(供試品種数:4品種) (2)地域慣行の施肥対応にて、これまで未検証の品種の地域適応性を検証する。(供試品種数:7品種)	旭川青果物生産出荷協議会レタス部会
7	中間期におけるチンゲンサイの品種比較試験	新規	①3/29 ②6月上旬 ③8月上旬	①4月中旬 ②6月下旬 ③8月下旬	①5月中旬～ ②7月下旬～ ③9月下旬～	低温期と盛夏期の間位置する時期(「中間期」と称す)における市内の基幹品種にて病害多発等の問題が増えていることから、現行の基幹品種に代わり得る品種の検討資料を得る。(供試品種数:9品種)	旭川青果物生産出荷協議会チンゲン菜部会
8	抽台危険期におけるホウレンソウの品種比較試験	新規	①5月下旬 ②6月上旬 ③6月下旬	-	①6月下旬～ ②7月上旬～ ③7月中旬～	ホウレンソウが抽台しやすく、栽培が可能な品種が少ない夏至付近を生育時期とする作型において、当地での栽培に適し得る極晩抽性品種の模索を行う。(供試品種予定数:5品種程度)	旭川青果物生産出荷協議会ほうれん草部会
9	サヤインゲンの品種比較試験	新規	①5月上旬 ②6月下旬	-	①7月上旬～8月上旬 ②8月下旬～9月下旬	H26頃から用いられる地域基幹品種の「ピテナ」はS規格品が多く、市場評価が高いM規格が少ない。このため、M規格の長さで曲がり莢等が少なく、当地での栽培に適する品種を模索する。(供試予定品種数:6品種程度)	旭川青果物生産出荷協議会豆部会
10	ラッカセイの露地栽培試験	新規	①4月下旬 ②5月上旬 ③5月中旬	5月下旬	9月上旬～9月下旬	旭川においても一部の生産者により落花生の作付が行われているが、ハウス栽培での作付であり、規模の拡大や生産者の増加が難しい状況である。このため、露地栽培での安定生産技術の検討を行う。(供試品種:郷の香)	直売所等

平成30年度 旭川市農業センター試験課題等一覧(H30.4.1現在)

No.	課題名	年次	作型			試験の概要	関係先等
			播種	定植	調査・収穫		
11	雪の下ニンジン の品種比較試験	新規	①6月中旬 ②6月下旬 ③7月上旬	-	11月上旬 以後3月まで 月1回程度 品質調査	市内では一部の生産者が積雪下で越冬させるニンジン栽培し、直売所や大手の小売店への出荷を行っている。このたび、他の試験研究機関において、積雪下での越冬特性に優れる品種の報告があったことから、当地での栽培における品種特性を調査する。(供試品種予定数:3品種)	雪の下ニンジン生産者
12	冬季の小カブ栽培における移植 適期検討試験	新規	9月上旬～ 10月上旬 の間に5回	各播種日 の約2週間 後	11月中旬～	これまでの冬季栽培試験等において、市内での栽培適性があると見込まれる小カブについて、圃場使用時期の後退を目的とした移植栽培を行うにあたり、適切な播種・定植時期を検討する。(供試品種:ゆきわらし)	冬季栽培に取り組む又は関心を示す生産者
13	寒締めハウレンソウ栽培における マルチ資材の比較試験	新規	9月中旬	9月末	11月中旬～	市内の寒締めハウレンソウ栽培ではマルチを用いた移植栽培が増えているが、マルチの色に関する検討は行われていないまま銀ネズでの栽培が一般的となっている。だが、雑草の繁茂が問題になることもあるため、他の有色マルチでの生育について検討する。(供試品種:冬霧7)	寒締めハウレンソウ生産者

* 参考調査

No.	課題名	年次	作型			試験の概要	関係先等
			播種	定植	調査・収穫		
参考 1	スターチス・シヌ アータ「蒼雲」の 栽培管理法調査	新規	/	5月中旬	7月下旬～ 10月下旬	市内で作付が多い「蒼雲」は切花品質は良好だが採花本数が少ない品種特性がある。育種者は摘心による株養成を他品種より長く行うことにより採花本数が増えるという見解を持っているため、その管理法を中心に調査を行う。(No.4試験との併行栽培)	旭川青果物 生産出荷協 議会花卉部 会
参考 2	ミニトマト「純あ ま」の品種特性 調査	新規	3/22	5月上旬	6月～	JA東旭川では、一部の技能の高い生産者と協力し、サントリーフラワーズのミニトマト品種「純あま」の栽培・出荷を行っている。品質が高く、引き合いも多いことから生産拡大を図るため品種特性と整枝法について検討を行う。(No.5試験との併行栽培)	JA東旭川 サントリーフ ラワーズ
参考 3	冬季の小カブに おける品種特性 調査	新規	9月中旬	-	11月中旬～	これまでの冬季栽培試験等において、市内での栽培適性があると見込まれる小カブだが、現在使用している品種は葉長が長いために袋詰めが困難で、低温伸長性にも個体差がやや見られることから、各品種の冬季栽培の適応性を調査する。(No.12試験との併行栽培、供試品種予定数:8品種程度)	冬期栽培に取り組む又は関心を示す生産者
参考 4	寒締め栽培にお けるハウレンソウ の品種特性調査	新規	9/13頃	9/28頃	11月中旬～	現行の基幹品種「冬霧7」で特に大きな問題は生じていないが、他にも寒締め栽培に向くとされる品種が販売されていることから、品種特性に関する知見を得る。(No.13試験との併行栽培、供試品種予定数:8品種程度)	寒締めハウレンソウ生産者
参考 5	晩秋まきハウレ ンソウの品種特 性調査	新規	9月下旬	-	11月上旬	当地の生産者部会では「トラッド7」が用いられ、品種変更を検討するような課題は生じていないが、この作型は種苗各社による新品種開発が活発なことから、近年新発売となった品種を中心に、その特性を調査する。(No.13試験との併行栽培、供試品種予定数12品種程度)	旭川青果物 生産出荷協 議会ほうれ ん草部会